



2023年12月期

決算説明レポート

1. 2023年12月期 概況
2. TOPICS
3. 事業環境認識・当社の取り組み
4. 2024年12月期 業績予想
5. ご参考) 中期経営計画 2022年～2026年
6. appendix



サマリー

■ 2023年12月期 概況

- ・連結ベース 売上高3,753百万円 営業利益31百万円 当期純利益▲53百万円
- ・金融ソリューション事業で新NISAシステムの提供が順調に推移。
- ・セキュリティ強化、デジタルコマースなど事業拡大に向けた先行投資や採用・育成などの人材投資を実施。

■ TOPICS

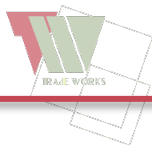
- ・当社インターネット取引システム「TradeAgent」をアップデートし、新たなシステムを提供開始。
米国株式の取引機能に、信用取引機能、外貨管理機能を搭載、新NISAにも対応。
- ・株式会社ウィルテック社にて、当社メタバースプラットフォーム「Meta Village」が採用。

■ 事業環境認識・当社の取り組み

- ・当社の主軸である金融・証券業界のIT投資意欲はコロナによる制限緩和後も旺盛。
- ・事業領域拡大、ビジネスモデル転換、2つの成長戦略を継続して実施し、規模、収益力を拡大。

■ 2024年12月期 業績予想

- ・売上高4,400百万円、営業利益180百万円を見込む。
- ・株主還元は1株当たり20円の配当を予定。



1. 2023年12月期 概況



株式会社トレードワークス浅見でございます。

はじめに、能登半島地震で被災された皆様や、
そのご家族に心からお見舞い申し上げます。
今回もオンラインでの説明会とさせていただきます。

それでは2023年12月期 連結決算の概況をご説明させていただきます。

目次
1. 2023年12月期 概況
2. TOPICS
3. 事業環境認識・当社の取り組み
4. 2024年12月期 業績予想
5. ご参考) 中期経営計画 2022年~2026年
6. appendix

©TRADE WORKS Co., Ltd. All Rights Reserved. 1

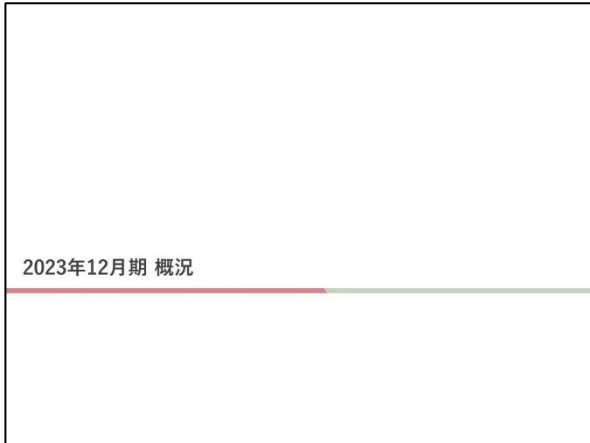
はじめに
2023年12月期 概況、

続いて
TOPICSと事業環境認識・当社の取り組み、

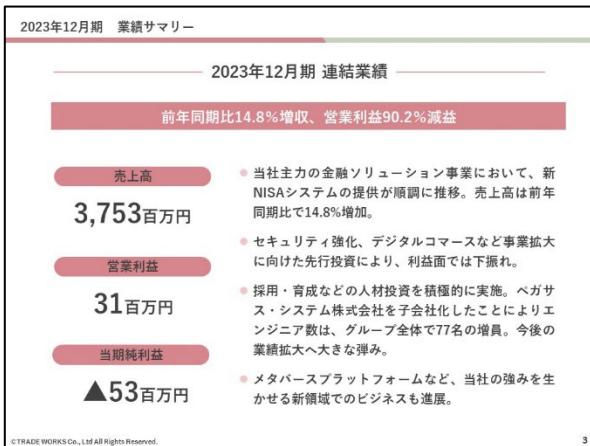
最後に
2024年12月期 業績予想

についてご説明させていただきます。

1. 2023年12月期 概況



まず、2023年12月期 概況についてご説明させていただきます。



2023年12月期 連結業績につきましては、新NISAシステムの提供が順調に推移しましたが、セキュリティ強化、デジタルコマースなど事業拡大に向けた先行投資を行った結果、

売上高は37億5,300万円
 営業利益は3,100万円
 純利益はマイナス5,300万円
 となりました。

1. 2023年12月期 概況

2023年12月期 重点施策の振り返り

堅調 既存・新規顧客の提案強化

- ・積極的なIT投資需要に対し、既存・新規顧客への新規案件の提案を強化。
- ・新NISA制度開始需要の高まりを捉えるべき、顧客折衝を強化。

進展 メタバース領域へのプラットフォームを提供

- ・金融システムのノウハウを活かし、新領域へ展開。
- ・教育関連企業、団体からの引き合い、受注も進展。

進展 新分野への積極投資

- ・デジタルコマースなどの新規事業へ積極的に投資。
- ・テクノロジーファーストの中期経営計画において事業領域拡大に向けた足がかりができる
- ・顧客の要望を汎用的に叶えるため開発強化を継続

強化 積極的な採用活動

- ・当事業拡大の肝となる人員獲得は大きな成果
- ・採用活動・MAが順調に進展し、今期に入り、77名エンジニアが増加

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

2023年重点施策の振り返りについてです。当グループは積極的なIT投資需要に対し、既存・新規顧客への新規案件の提案を強化しました。また、金融システムのノウハウを活かし、メタバース領域へのプラットフォームを提供するほか、デジタルコマースなどの新規事業へ積極的に投資しました。さらに、より大きなプロジェクトに対応できるよう、積極的な採用活動を実施しました。

2023年12月期 業績ハイライト

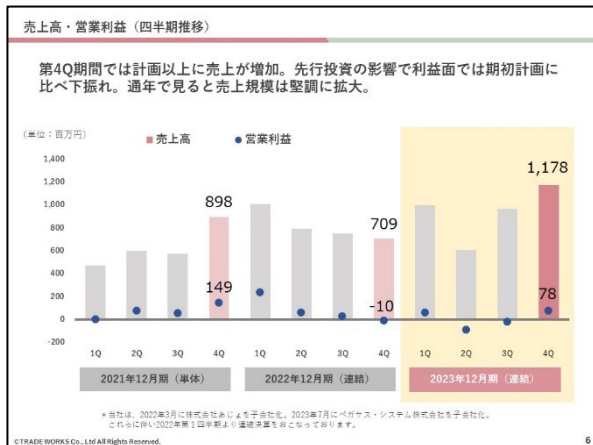
主力の金融システムが堅調に推移したことに加え、ペガサス・システムが第4Qより売上に貢献し、期初計画を7%上振れして着地。利益面では、セキュリティ、デジタルコマース関連への投資を早めたこと、事業拡大に向けた本社移転の影響により大幅な減益となる。

(単位: 百万円)	2022.12期	2023.12期			前期比
		連結	期初計画	達成率	
売上高	3,270	3,753	3,500	107.2%	14.8%
営業利益	318	31	340	9.2%	▲90.2%
経常利益	327	41	340	12.1%	▲87.4%
当期純利益	200	▲53	220	▲24.2%	-

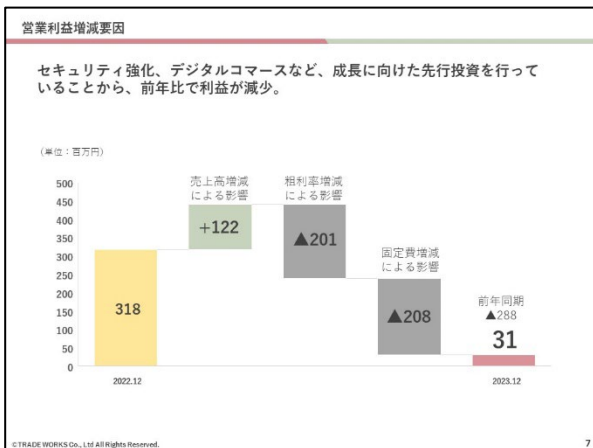
©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

続きまして2023年12月期 業績につきましてはは主力の金融システムが堅調に推移したことに加え、ペガサス・システムが第4四半期より売上に貢献し、増収となりました。損益面につきましては、セキュリティ対策の強化や、事業拡大に向けたデジタルコマース関連への投資、本社移転費用により大幅な減益となりました。

1. 2023年12月期 概況



続きまして四半期推移につきましては、2023年度第4四半期にリリースが集中した結果、
売上高は11億7,800万円
営業利益は7,800万円
 の利益となりましたが、通年では大きく減益となりました。

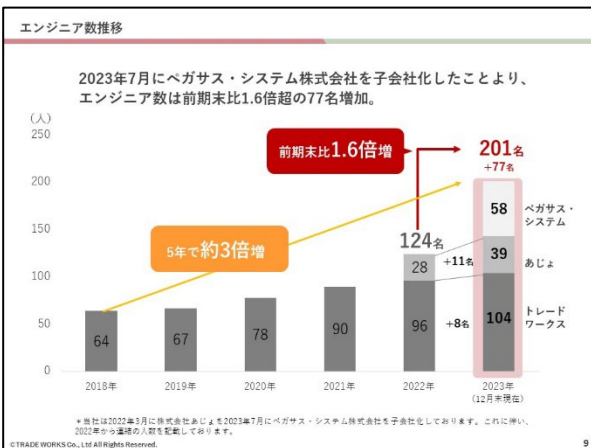


続きまして営業利益増減要因につきましては、成長に向けた先行投資を行っていることから粗利率が低下し、
営業利益は3,100万円
 となりました。

1. 2023年12月期 概況

	2022.12期	2023.12期	増減額		2022.12期	2023.12期	増減額
流動資産	1,354	1,824	470	流動負債	539	1,047	508
現金及び預金	688	615	▲73	買掛金	123	176	53
売掛金	195	728	533	未払法人税	3	25	22
固定資産	824	1,219	395	固定負債	176	610	434
有形固定資産	77	275	198	純資産合計	1,463	1,385	▲78
無形固定資産	269	403	133	負債・純資産合計	2,178	3,043	865
投資その他の資産	477	540	63				
資産合計	2,178	3,043	865				

続きまして貸借対照表につきましては、総資産は、前期に比べ、子会社取得に伴うのれん勘定の増加及び、本社移転に伴う固定資産の増加により、前期末より8億6,500万円増加し、30億4,300万円となりました。流動負債は、前期に比べ、借入金の増加及び本社移転費用・工事費等の未払金増加により、前期末より5億800万円増加し、10億4,700万円となりました。純資産は、前期末より7,800万円減少し、13億8,500万円となりました。



続きましてエンジニア数の推移につきましては、今後の事業拡大及び大型案件にも対応できる人材獲得・育成に努めた結果、2023年12月末時点でのエンジニア数は201名となり、内訳は表の通りとなりました。

2. TOPICS

続きましてトピックスです。



TOPICS①

当社インターネット取引システム「TradeAgent」をアップデートし、新たなシステム提供を開始

米国株式の取引機能に「信用取引機能」「外貨管理機能」を搭載

国内における米国株式取引および円安に伴う外貨の取り扱いのニーズが拡大

● 信用取引機能 ● 外貨管理機能を搭載

新NISAへの対応
-成長投資枠、つみたて投資枠-

はじめてみよう！
つみたて NISA

成長投資枠NISAの取り扱いのスタートをする証券会社に対するシステムリニューアルと併せて、「積立サービス」を新たに開始される証券会社には、つみたて投資枠の管理機能の新設と共に、TradeAgentとシームレスに連動する総合的な積立サービスのシステム提供を開始

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved. 11

当社インターネット取引システム「TradeAgent」をアップデートし、新たなシステムの提供を開始しました。

米国株式の取引機能に、信用取引機能、外貨管理機能を搭載し、新NISAへの対応を行いました。

2. TOPICS

TOPICS②

株式会社ウィルテックにて
当社メタバースプラットフォーム「Meta Village」が採用

企業魅力醸成に向けたコンテンツ運営、ニューノーマルにおける
採用活動の先駆者として採用活動を共創

株式会社ウィルテック
日本の未来を支える学生に対する新たなアプローチ
手法を模索していく中、メタバース特有のアバター
を通じた「匿名性」「リアリティ」「双方向コミュ
ニケーション」を生かし、活発な情報発信や学生と
のコミュニケーション活性化を図ることを目的に、
デジタル空間×リアル空間で、多くの人と出会い、
企業の魅力を最大限伝えられる、当社メタバースプ
ラットフォーム「MetaVillage」を採用。



サービス構成

- 広報ルーム：同社企業広報、投資情報提供などを行うエリア
- セミナールーム：各種セミナーや説明会などを行うエリア
- コミュニケーションルーム：交流や体験学習などを行うエリア

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved. 12

株式会社ウィルテック社におきまして、当社メタバースプラットフォーム「Meta Village」が採用されました。

企業の魅力醸成に向けたコンテンツの運営、ニューノーマルにおける採用活動を実現しました。

3. 事業環境認識・当社の取り組み

続きまして事業環境認識・当社の取り組みについてご説明させていただきます。



当社の事業環境につきましては、市場資金等の流入により、金融取引市場は活況であり、当社の主軸であります金融・証券業界では、IT投資意欲が旺盛であると捉えております。

3. 事業環境認識・当社の取り組み

2024年12月期の位置づけと重点施策

2024年12月期の位置づけ

2026年の中計最終年度に向けて成長投資を加速しつつ、収益力向上を急ぐ

成長、飛躍への基盤整備
+
業績拡大の継続・収益力向上

5年間で2.4倍の企業規模への拡大を目指す中期計画において、3年間で1.7倍の成長が必要。
想定通りのスピードで計画実行中であり、業績向上と将来の飛躍の両面を確実に実行。

重点施策

前期に掲げた以下の施策を継続強化

- ① 主軸事業の深耕、証券インターネット取引システム領域のシェア拡大
- ② 新事業の収益化。パートナーシップにより準備を進める新ビジネスの育成
- ③ 良好に進捗中の人員拡大を活かし、売上規模と生産性の向上を図る
- ④ 働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要領域進出
- ⑤ AI、IoT技術の利用や、フィンテックによる新しいサービスの開発

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved. 15

2024年12月期の位置づけと重点施策といたしましては、中期経営計画で掲げております5年間で、2.4倍の企業規模の拡大を成し遂げるため、既存事業の拡大、新規事業の本格展開開始に加え、フィンテックなどをはじめとする次世代金融テクノロジーへの取り組みを開始いたしました。

重点施策は
主軸事業の深耕、証券インターネット取引システム領域のシェア拡大、
新事業の収益化に向け事業者との資本・業務提携の関係強化、
AI・IoT技術の利用やフィンテックによる新しいサービスの開発、
働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要領域への進出、
以上を重点施策として推進してまいります。

成長戦略

持続的な成長を目指し2つの戦略を実施

技術と金融知識を持ち合わせた専門性の高い集団

金融・金融
周辺領域

その他
新領域

パートナーシップ

主軸領域の深耕と新領域への進出
事業領域拡大

新規開発 利用・保守
新規開発 利用・保守
新規開発 利用・保守
新規開発 利用・保守

利用型・ストック型ビジネスモデル比率のUP
ビジネスモデル転換

×

2つの戦略を継続して実施し、規模、収益力を拡大

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved. 16

当社の成長戦略としましては、収益基盤の安定化を図るため、「開発・フロー型」から、サービスを提供する「利用型・ストック型」へのビジネスモデル転換は引き続き推進してまいります。また、コアビジネスに加え、新ビジネス及び新領域への事業拡大を図り、規模・収益力の拡大に努め、経営基盤の構築を図ってまいります。

4. 2024年12月期 業績予想

続きまして2024年12月期 連結業績予想についてご説明させていただきます。

2024年12月期 業績予想	

2024年12月期 連結業績予想につきましては、
 売上高は44億円
 営業利益は1億8,000万円
 としております。

2024年12月期 業績予想			
事業拡大を進め、売上高17.2%の増収を計画。 成長投資を強化しつづ前期比増益を計画。			
	(単位：百万円)		
	2022.12期 連結	2023.12期 連結	2024.12期 連結 (予)
売上高	3,270	3,753	4,400
営業利益	318	31	180
経常利益	327	41	180
当期純利益	200	▲53	110
<small>*当社は、2022年3月に株式会社あじふ子会社化。2023年7月にベガス・システム株式会社も子会社化。これらに伴い2023年第1四半期より連結決算をおこなっております。</small>			
<small>©TRADE WORKS Co., Ltd. All Rights Reserved. 18</small>			

4. 2024年12月期 業績予想

株主還元について

経営基盤の強化を最優先し、
将来の事業展開と内部留保とのバランスを考慮し、利益配分を実施

1株あたり20円を予定

	2022.12期	2023.12期	2024.12期 (予)
配当金 (1株)	15円	20円	20円

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved. 19

最後に株主還元につきましては、
一株あたり20円の配当を予定しております。

以上、2023年12月期 決算のご説明とさせていただきます。

ご視聴ありがとうございました。

5. ご参考) 中期経営計画 2022年～2026年

ご参考) 中期経営計画 2022年～2026年

中期経営計画 2022年～2026年

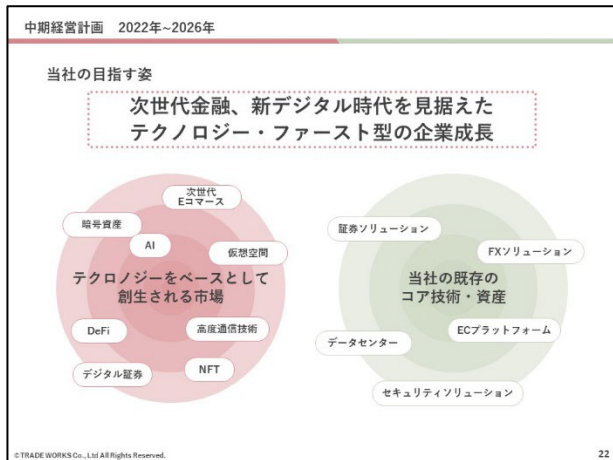
永続的な成長の礎を築くための計画として、2022年12月期を初年度とし、2026年12月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定。

テクノロジーファーストを遂行し、金融領域+αで
2021年12月期比、2.4倍の企業規模を目指します。

2026年12月期目標
売上高：6,000百万円、営業利益：795百万円



5. ご参考) 中期経営計画 2022年～2026年



中期経営計画 2022年～2026年

目標数値

既存事業におけるストック率の向上
●ストック売上高目標 3,074 百万円 (2022年12月期: 1,606百万円)
●既存事業におけるストック売上高比率 62.7% (2022年12月期: 51.2%)
新規事業の育成
●新規事業売上目標 1,100 百万円
新規事業の育成
●エンジニア数 199 人 (2022年12月期: 124人)

©TRADE WORKS Co., Ltd. All Rights Reserved. 23


6. appendix



当社の特徴

技術と金融知識を持ち合わせた
専門性の高い集団

<p style="text-align: center;">技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最新テクノロジー ● ビッグデータ ● バーチャルリアリティ ● 音声認識 ● AI ● RPA ● Fintech ● クラウド 	×	<p style="text-align: center;">金融知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 株式 ● FX・CFD ● 仮想通貨 ● 投資信託 ● 保険 ● 年金
---	---	---



©TRADE WORKS Co., Ltd. All Rights Reserved. 25

6. appendix

継続的な取り組み

ビジネスモデル改革を進め

- ① 予期せぬ不採算案件の発生
- ② 製品及びサービスへの品質・価格に対する顧客からの要請
- ③ 同業他社との競争激化

に準備、対処し収益性向上を図ります。

▼

技術者育成 + 環境整備
全社横断 品質・生産性向上

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved. 26

留意事項

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社トレードワークス
〒107-6110 東京都港区赤坂5丁目2番20号
赤坂パークビル10階
TEL:03-6230-8900 FAX:03-6230-8901
<https://www.tworks.co.jp/>

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved. 27